

2018年7月17日

各 位

住 所	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号
会 社 名	GMO インターネット株式会社
代 表 者	代表取締役会長兼社長 熊谷 正寿 グループ代表 (コード番号 9449 東証第一部)
問い合わせ先	取締役副社長 グループ代表補佐 安田 昌史 グループ管理部門統括
T E L	03-5456-2555(代)
U R L	https://www.gmo.jp

持分法適用会社である GMO あおぞらネット銀行による インターネット銀行事業開始に関するお知らせ

当社の持分法適用会社である GMO あおぞらネット銀行株式会社(代表取締役社長:山形 昌樹、本社:東京都渋谷区、以下、GMO あおぞらネット銀行)は、本日、インターネット銀行事業を開始しましたのでお知らせいたします。

記

1. 事業の概要

当社グループとあおぞら銀行グループは、それぞれの専門的な技術・ノウハウをもって、急速に発展する情報通信技術と利用者の行動変化に対応した、金融と IT の融合による新しい金融サービスを提供するべく、2016年7月から、次世代型インターネット銀行の開業へ向けて準備を進めてまいりました。

この度、GMO あおぞらネット銀行は、「すべてはお客さまのために。No.1 テクノロジーバンクを目指して」をコーポレートビジョンとして、高度セキュリティ認証、ブロックチェーン、人工知能(AI)、IoT、次世代メディアなどを活用した、新たな顧客ニーズに対応する次世代型インターネット銀行事業を 2018年7月17日に開始いたしました。詳細は、別添しております GMO あおぞらネット銀行によるリリース「新しいインターネット銀行事業の開始について」をご覧ください。

2. 事業を開始する持分法適用会社の概要

(1) 名 称	GMO あおぞらネット銀行株式会社
(2) 所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役会長 金子 岳人 代表取締役社長 山形 昌樹
(4) 事 業 内 容	銀行業務、信託業務

(5) 資 本 金	8,751 百万円 (2018 年 3 月 31 日現在)	
(6) 設 立 年 月 日	1994 年 2 月 28 日	
(7) 株 主 構 成 ^{*1} (議 決 権 比 率)	株式会社あおぞら銀行	85.1%
	GMO インターネット株式会社	7.45%
	GMO フィナンシャルホールディングス株式会社	7.45%

*1 GMO インターネット及び/又は GMO フィナンシャルホールディングス(以下、GMO 両社)が関係当局の承認を得て GMO あおぞらネット銀行に係る主要株主認可を取得した日、又は GMO あおぞらネット銀行のインターネット銀行事業の正式開始日から 5 年が経過した日等のいずれか早く到来する日に、GMO 両社はあおぞら銀行から GMO あおぞらネット銀行株式を譲り受けることが可能となっております。その場合の GMO 両社の議決権比率は 50.0%となります。詳しくは、2016 年 7 月 21 日開示の「連結子会社である GMO クリックホールディングス株式会社とあおぞら信託銀行株式会社とのインターネット銀行の共同運営に関する資本提携のお知らせ」をご覧ください。

3. 今後の見通し

本開示の内容による当期業績への影響は軽微なものと見込んでおりますが、将来にわたって当社の企業価値向上に寄与するものと考えております。

以上

2018年7月17日

各位

GMO あおぞらネット銀行株式会社

新しいインターネット銀行事業の開始について

「すべてはお客さまのために。No.1テクノロジーバンクを目指して」

GMO あおぞらネット銀行株式会社（以下、当ネット銀行）は、高度セキュリティ認証、ブロックチェーン、人工知能（AI）、IoT、次世代メディアなどの活用と新たな顧客ニーズに対応した、次世代型インターネット銀行事業を2018年7月17日に開始いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当ネット銀行のコンセプトとビジョン

近年、インターネットバンキングの利用意向が、若い世代を中心に高まっていることに加え、スマートフォンの普及やFinTechの進歩により、キャッシュレス社会が到来しつつあります。また、昨年6月施行の改正銀行法により、銀行とFinTech事業者とのAPI連携が進み、より利便性の高い決済をはじめとする新しい金融サービスが誕生しつつあります。さらに、ブロックチェーン技術の応用により、より安全で安価な決済・金融サービスに向けたブレークスルーへの期待が高まっています。

このような市場環境の下、当ネット銀行は、「すべてはお客さまのために。No.1テクノロジーバンクを目指して」を経営理念として、以下のコンセプトを具現化してまいります。

- (1) EC事業者を含む中小企業・小規模事業者等のお客さまに、生産性向上につながる銀行サービスを低価格で提供する
- (2) 個人のお客さまにITを駆使したスマートな次世代型機能とGMOクリック証券株式会社（以下、GMOクリック証券）と連携した魅力ある銀証連携サービスを提供する
- (3) GMOインターネット株式会社（以下、GMOインターネット）グループ、株式会社あおぞら銀行（以下、あおぞら銀行）グループと連携することに加え、外部のFinTech企業とも連携して、ユニークなサービスをスピーディーに展開する
- (4) 低価格のサービス提供を実現するために、システムは最先端のIT技術を活用し、圧倒的なコスト低減を図る

スマートフォンアプリのイメージ



当ネット銀行は、インターネットでの商取引が拡大する中で、“気がつけばいつの間にか使っている”お客さまに寄り添う銀行を目指します。また、ブロックチェーンや人工知能（AI）に代表される新しいテクノロジーや、金融業界の新たな潮流に機敏に対応した商品サービスを展開してまいります。さらに、ドメインやサーバーといったインターネットのインフラと同様に、各業界の企業に対して決済・金融インフラをホワイトラベルで提供する「プラットフォーム銀行」となることを志向してまいります。

2. 提供価値

当ネット銀行は、お客さまに「安心」「速さ」「安さ」「便利さ」「新体験」の5つの価値を提供いたします。

安心	取引ごとに発行されるワンタイムパスワード、生体認証機能、ハイセキュリティーカードなど、万全のセキュリティで安心してご利用いただけます。
速さ	開発スピードの向上による素早いサービス提供に加え、処理速度の向上に努めストレスないインターネットバンキング環境をご提供します。
安さ	業界最高サービス水準の ATM 出金無料回数、他行あて振込の無料回数でご利用いただけます。他にも各種キャンペーンによりお得にご利用いただけます。
便利さ	24 時間 365 日パソコン・スマートフォンでお取引可能です。ATM はお近くのセブン-イレブンなどで 24 時間ご利用可能、キャッシュカードと一体型のデビットカードでキャッシュレスを実現します。
新体験	資金を目的に応じて分けて管理できる「つかいわけ口座」、入金消込のスピード・精度アップを可能にする「振込入金口座」、オープン API による決済・金融サービスなど、新たな体験をお届けします。

3. 商品サービスの特長

最新テクノロジーの活用や、GMO インターネットグループ内製によるシステム開発体制により、コストを抑制した結果、業界最安値水準の商品サービスを提供することが可能になりました。当ネット銀行は、個人および法人の円普通預金、円定期預金に加え、事業開始初年度に次のような特長ある商品サービスを提供いたします（今後、商品サービスは順次拡充予定です）。

(1) 個人向けバーチャル口座「つかいわけ口座」

つかいわけ口座は、お金の管理を便利にします。個人が保有する普通預金口座内で、生活費、貯蓄、教育費、お小遣いなど、目的別に最大 10 口座まで無料でつかいわけ口座を作成することが可能です。つかいわけ口座を通じた直接の入出金、親口座からつかいわけ口座への自動振替等も可能です。

(2) 法人向けバーチャル口座「振込入金口座」

振込入金口座は、法人の入金管理業務を効率化します。顧客単位やサービス単位で一時的に使用する仮想口座番号を作り、請求と入金を対応させることで、名義人や金額の相違が生じるなどして煩雑である入金消込作業の事務負担を軽減します。当ネット銀行に口座を保有する法人は、初期登録料も月額利用料もゼロ（無料）で振込入金口座を利用することができます。

(3) 証券コネクト口座（銀証連携サービス）

GMO クリック証券に証券口座をお持ちのお客さまは、当ネット銀行の口座にある資金が証券口座の買付余力に自動的に反映されます。これにより、証券口座の資金と当ネット銀行の資金が合算された買付余力の中で、株式取引を行うことができます。また、株式取引に伴う精算代金は、受渡日に GMO クリック証券の口座から当ネッ

ト銀行の口座に自動的に資金振替が行われます（自動スイープ機能）。

(4) 外貨預金（銀証連携サービス）

FX 取引高世界 No.1 の GMO クリック証券（ファイナンス・マグネイト社調べ（2012 年 1 月～2017 年 12 月））との連携により、外国為替相場をリアルタイムに反映した為替レート、競争力のある為替手数料、好条件の金利水準を実現した外貨預金サービスをご提供いたします。GMO クリック証券の技術を活用し、優れた UI/UX（操作性）を実現しました。当ネット銀行は 8 つの通貨（USD、EUR、GBP、AUD、NZD、CHF、CAD、ZAR）に対応しております。

(5) ハイセキュリティデビット一体型キャッシュカード

GMO あおぞらネット銀行のキャッシュカードには Visa デビット機能を標準装備しており、Visa 加盟店でのキャッシュレス決済に利用できます。2019 年春には、米 Dynamics Inc.と提携した、世界初のハイセキュリティデビット一体型キャッシュカードを発行する予定です。ハイセキュリティデビット一体型キャッシュカードでは、ユーザー自身が設定するパスコードを入力することで、ATM、デビットカードの利用が可能となる仕組みとなっており、カード紛失時等の物理的セキュリティを担保します。

ハイセキュリティデビット一体型キャッシュカードのイメージ



4. 今後の商品サービス展開

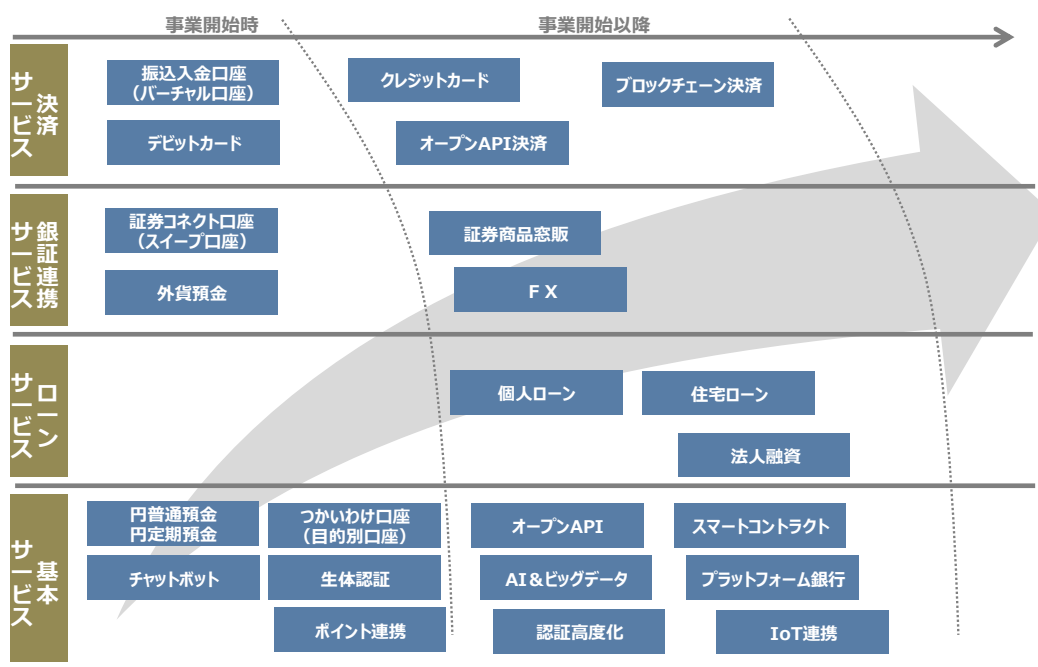
今後、当ネット銀行は、矢継ぎ早にローンやクレジットカード等の商品サービスを投入し、お客さまのニーズに幅広く応えてまいります。

また、2019 年 1 月には参照系 API（口座の預金残高や入出金明細などの情報参照が可能）の提供を開始し、2019 年 4 月には更新系 API（振込などの決済まで可能）の提供を開始する予定です。将来は、これら銀行 API 連携機能の拡充による「プラットフォーム銀行」の展開を見据えております（オープン API 決済サービスとして特許申請中）。

さらに、当ネット銀行は、GMO インターネットグループと連携し、ブロックチェーン技術を活用した新決済方式の開発に取り組むことを予定しております。

事業開始時から数年間の中期的な商品サービス展開のロードマップは次の図の通りであります。

図：中期的な商品サービス展開ロードマップ



5. 口座開設の受付

当ネット銀行の口座開設のお申し込みは、本日 7 月 17 日より下記ウェブサイトで受け付けております。

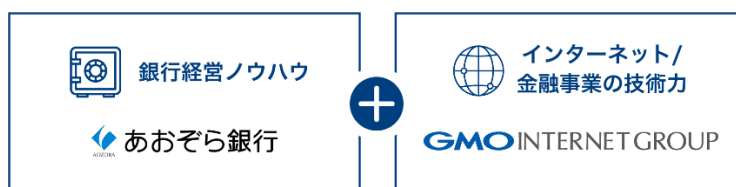
個人のお客さま <https://gmo-aozora.com/>

法人のお客さま <https://gmo-aozora.com/business/>

口座開設手続きが完了し次第、8月3日（予定）からPCおよびスマートフォンアプリによる取引が可能になります。なお、お近くのセブン銀行 ATM で、お引き出し、お預け入れ、残高照会がご利用いただけます。また、2019 年春には、イオン銀行 ATM もご利用可能となる予定です。

6. GMO あおぞらネット銀行の概要

当ネット銀行は、銀行経営およびリスク管理に関するノウハウを有するあおぞら銀行グループと、インターネット技術および電子商取引（EC）市場向けサービス、ならびにインターネット証券に関するノウハウを有する GMO インターネットグループが共同出資する会社です。



GMO あおぞらネット銀行

商号	GMO あおぞらネット銀行株式会社	
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号	
代表者	代表取締役会長 金子 岳人 代表取締役社長 山形 昌樹	
事業内容	銀行業務、信託業務	
資本金	8,751 百万円 (2018 年 3 月 31 日現在)	
設立年月日	1994 年 2 月 28 日	
株主構成 (議決権比率)	株式会社あおぞら銀行	(85.1%)
	GMO インターネット株式会社	(7.45%)
	GMO フィナンシャルホールディングス株式会社	(7.45%)

以上

【関係資料】

2016 年 6 月 24 日付「株式会社あおぞら銀行、あおぞら信託銀行株式会社、及び GMO インターネット株式会社によるインターネット銀行の共同運営に関する資本業務提携について」

URL: <https://gmo-aozora.com/news/pdf/20160624pressrelease1.pdf>

2017 年 10 月 19 日付「社名変更ならびにインターネット銀行事業開始時期についてのお知らせ」

URL: <https://gmo-aozora.com/news/pdf/20171019pressrelease.pdf>

2018 年 6 月 1 日付「社名変更および本社移転の完了のお知らせ」

URL: <https://gmo-aozora.com/news/pdf/20180601pressrelease1.pdf>

【お問合せ先】

GMO あおぞらネット銀行株式会社

経営企画グループ 武藤、相原 TEL: 03-4531-2323 E-mail: pr@gmo-aozora.com